

齋藤町長のスマイルトーク

移住定住の促進



少子高齢・人口減少問題は一朝一夕で解決出来るものではなく、特効薬もありません。様々な施策を組み合わせながら、持続可能な活力あるまちづくりを推進していきます。

また、都市部などから実際に移住してもらおうためには、「会津坂下町」を知ってもらう、訪れ、気候や風土を感じ、町の魅力を感じてもらう必要があります。そのため短期間の「お試し居住」が出来る住宅の整備を進めています。そこで実際に生活し、農体験活動などとおし会津坂下町での生活を体感してもらうことで、移住定住につながるかと考えます。

町では少子高齢・人口減少に対応するため、移住定住の促進に力を入れています。これまで子育て世帯の転入者への住宅購入・家賃補助などを行ってきましたが、今年度からはさらに、空き家バンクによる利用可能な空き家の情報一元化とそれを活用した移住定住への取り組みを始めました。

B. POWERS

FTV杯争奪ママさんバレー県大会優勝

9月6日、会津坂下町のバレーボールチームB. POWERSが、第40回FTV杯争奪住まいの市場ママさんバレーボール県大会で、3ブロックあるうちのT組で初優勝し、その報告に監督の猪股範子さん、選手兼コーチの佐藤千加子さん、選手の佐藤杏子さんが町役場を訪れました。

B. POWERSは、町内出身の女性14名で日々練習に励んでおり、創立8年目の今年、念願の県大会優勝を果たしました。佐藤さんは「東北・全国へ続く大会にも出場しているの、今回の優勝を自信にして、今後は全国大会出場を目標に頑張っていきます」と抱負を述べました。



坂下中学校生徒が

職場体験に訪れました！

9月8日～9日の2日間にわたり、坂下中学校の2年生2名が役場などでインターシップ職場体験を行いました。子育てふれあい交流センターの業務を体験し、子どもたちとふれあい、中央公民館では、本の整理など、司書の業務を体験しました。2日間お疲れ様でした。

購入した本のラベル貼り作業



歌に合わせて、紙人形劇を披露

町教育委員に

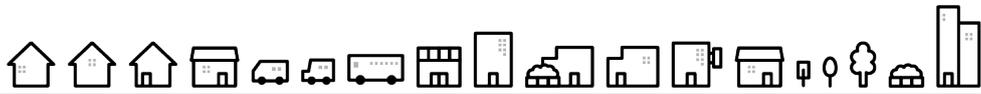
田崎ヒロ子さんを任命

平成24年より4年間、教育委員としてご尽力いただきました。齋藤志津子さんの任期が満了となりました。後任には、田崎ヒロ子さんが、議会の同意を得て任命されました。10月3日に辞令交付式が町長室で行われ、齋藤町長から辞令が交付されました。

田崎さんは「これまで幼児教育や子育て支援に関わってきました。その経験を教育行政に反映し、貢献してまいります。将来を担う子ども達のために精一杯努めてまいります。」と抱負を語りました。



田崎ヒロ子さん



坂下南・坂下東幼稚園で祖父母感謝会開催

9月14日、坂下南・坂下東幼稚園で、園児のおじいちゃん・おばあちゃんへ日頃の感謝を込めた祖父母感謝会が行われました。

坂下南幼稚園では、絵本作家であり、子どもたちが喜ぶ曲の制作者でもある中川ひろたか先生、坂下東幼稚園では、仙台発信のあそびうたユニット「あきらちゃん&コロツケくん」をそれぞれ講師に招き、楽しいお話はもちろん、祖父母と園児がふれあいながら歌を歌ったり体を動かしたりし、笑顔と笑い声のあふれる時間となりました。



①②③：坂下南幼稚園
(中川ひろたか先生)
④⑤⑥：坂下東幼稚園
(「あきらちゃん&コロツケくん」)



市町村対抗野球大会 会津坂下町チーム2回戦で惜敗！

▼1回戦結果



チ ャ ム	1	2	3	4	5	6	7	計
大熊町	0	0	0	0	0			0
会津坂下町	3	0	2	4	×			9

▼2回戦結果



チ ャ ム	1	2	3	4	5	6	7	計
鮫川村	0	0	2	2	0	0	3	7
会津坂下町	0	0	4	0	0	0	0	4

◆1回戦 9月24日
福島市 県営あづま球場

県内59市町村すべてが参加して『第10回市町村対抗福島県軟式野球大会』が開催され、郡山市開成山野球場、福島市県営あづま球場、本宮市しらさわグリーンパーク野球場、須賀川市牡丹台野球場の4会場で熱戦が繰り広げられました。

会津坂下町打線が長短併せて8安打の猛攻をみせ、さらに機動力を絡め9-0(5回コールド)で昨年に引き続き初戦突破を果たしました。

投げては、佐藤佳樹、馬場

◆2回戦 9月25日
本宮市 しらさわグリーンパーク野球場

佳佑の継投で見事完封しました。

両チーム投手の制球力の乱れから、中盤は点の取りあいとなった試合は、同点のまま最終回を迎えました。鮫川村は、ヒットと四球に機動力を絡め一挙に3点をあげ、勝利を手繰り寄せました。

会津坂下町は鮫川村投手陣に1安打に抑えられ、惜敗しました。



9月18日午前中、雨の中行われた清掃ボランティア

午後の高校生カフェでは、多くの人が足を止める盛況ぶりを見せた。



高校生によるまちおこしプロジェクトが実施されました

本年度、福島県立坂下高等学校5名とNPO法人NIVO、町がワークショップを開催し「まちづくり」について考えてきました。参加した高校生から、『カラスの糞に悩まされていること』『ボランティアに参加する機会が少ないこと』『空き店舗が増えまちなかに賑わいがないこと』が課題として挙げられ、課題解決に

向け、自分たちに出来ることについて話し合いました。結果、秋まつり(9月18日)に「清掃ボランティア」と空き店舗を活用した「高校生カフェ」を実施しました。午前中は「清掃ボランティア」を行い、町内高校の生徒が町民の方々と中央公園から駅前までゴミ拾いとカラスの糞の除去を行いました。午後は「高校生カフェ」を旧みやや店舗で行い、飲み物の振る舞いと会津坂下高等学校美術部の作品展示、会津農林高等学校生作成のお菓子販売を行いました。店内は賑わいをみせ、その取り組みや商品について喜んでいただけました。ご協力いただいたみなさま、誠にありがとうございました。

第38回少年の主張福島県大会開催 榎原光起さん最優秀賞受賞！

9月27日、中央公民館で第38回少年の主張福島県大会が開催されました。会津坂下町からは、坂下中学校3年の藤田茉記さんと榎原光起さんが発表者として参加し、藤田さんは「真実を見て…」という題名で、水俣病と福島県の放射能問題から差別と偏見をなくすためには正しい情報に基づいた行動が大切だと力強く語り、榎原さんは「インド人(喜捨のこころ)」という題名で、インド滞在中に自



藤田茉記さん

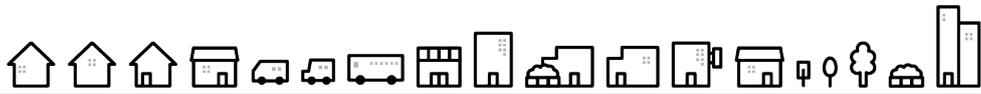


榎原光起さん

身が感じた「本当の豊かさとはなにか」について、現代の日本社会と比較しながら考えを述べました。この大会で、榎原さんが最優秀賞、藤田さんが優良賞に選ばれ、榎原さんは東北大会に出場することになりました。また、審査中のアトラクションとして坂下中学校吹奏楽部が演奏を披露し、来場者を楽しませていました。



素晴らしい演奏を披露する坂下中学校吹奏楽部



小学校陸上記録会開催

9月27日、坂下東小学校グラウンドで小学校陸上記録会が開催されました。坂下南小からは、5年生89名・6年生71名、坂下東小からは5年生61名・6年生58名が参加し、100メートル走やハードル走、走り高跳びなど、それぞれの競技で自己ベストを目指して力を尽くしました。

小学校鼓笛隊パレードが開催されました

爽やかな秋晴れの空のもと、秋の全国交通安全運動の最終日となる9月30日に、坂下南・坂下東小学校による交通安全・地域安全鼓笛隊パレードが行われました。両校の鼓笛隊に交通団体や防犯団体を加えた隊列は、坂下南小学校を出発したのち、役場前通りにて素晴らしい演奏とともに整然とした行進を見せました。沿道には多くの観客が集まり、子どもたちの堂々とした様子が盛大な拍手が送られました。



坂下東小学校



坂下南小学校

除染土のうの全量搬出が完了しました

9月下旬から約1か月かけて、会津坂下町気多宮地内の除染土壌仮置場から、大熊町の中間貯蔵施設の保管場への除染土のうの輸送が実施されました。これをもちまして昨年度から実施してきた輸送により、会津坂下町で発生した約1900袋の除染土のうの搬出が全て完了しました。平成24年度に周辺住民のご理解とご協力により、仮置場を設置することができ、会津坂下町における除染作業を安全かつ円滑に行うことができています。

今後の仮置場につきましては、輸送完了後に原状回復を実施します。原状回復は仮置場の全てを撤去し、さら地に終了となります。着手については降雪時期が重なるため平成29年4月以降に解体作業を行う予定です。搬出完了後から撤去までの間は、仮置場自体は残りますので引き続き適正に管理してまいります。



第46回世界児童画展が 開催されました



9月30日から10月3日までの4日間、町の中央公民館にて「会津坂下展開催15回記念 第46回世界児童画展会津坂下展」が開催されました。

30日には開会式が行われ、関係者や坂下南小学校の児童のみなさんが参列し、展覧会の開催を祝いました。4日間の間には、町内外より約1000名と多くの方が来場され、世界各国や日本の子ども達が描いた絵に



ついて感想を述べ合う方や、自身のお子さんやお孫さんなどが描いた絵を見ながら、その成長を喜ぶ家族連れなど、それぞれ展覧会を楽しんでいるようでした。

また、今回は、以前町で開催していた「会津雪国の絵展」の受賞作品を同会場にて展示したこともあり、懐かしみながら見て回られる方もいらつしました。

路線バスの乗り方教室が 行われました

10月3日、会津平和自動車学校を会場に路線バスの乗り方教室が開催され、坂下小学校の4年生60名が参加しました。

この教室は、児童の安全なバス利用促進を目的として行っているものです。

参加した児童は、会津乗合自動車株式会社の担当者の説明を真剣に聞きながら、実際にバスの乗り降りを行い、交通安全意識を高めました。

ドライバーのみなさんも、歩行者や自転車を見かけたから、速度を落とし、安全な間隔を取って運転するようお願いします。



高砂屋商店 全国醤油品評会で 農林水産大臣賞受賞



第44回全国醤油品評会で最高賞にあたる農林水産大臣賞に高砂屋商店の製品が選ばれ、10月4日、その受賞報告に町役場を訪れました。

創業104年の老舗である高砂屋商店の醤油は、「キントカサゴ醤油」として親しまれており、30年ぶり2度目の受賞となりました。

来庁された桑原勇さんは、「近年では醤油以外の商品の販促にも力を入れている。それらを含めて、より質のよい製品を作り続けていきたい。」と今後の抱負を述べられました。

ばんげの味が育てる

おいしい楽しい健やかライフ

その 83



①② AKAZA メンバーが心を込めて調理する。
③④会津坂下町産の食材が多く並ぶ。
⑤敬老会で振る舞われたお弁当。

食を通してのまちづくり事業への参加
NPO 法人農産加工グループ
AKAZA の取り組み
NPO 法人 AKAZA は、農業を通して、障害者や高齢者を含めたすべての地域住民が生きがいをもって生活できる社会づくりへの貢献を理念として活動している団体です。
今回、AKAZA のまちづくり事業への参加活動として、敬老会でのお弁当づくりを紹介します。
敬老会でのお弁当のメニューは、赤飯・天ぷら・焼き鮭・こんぶ巻・煮物・マカロニサラダ・フルーツ(りんご)です。

これらの料理の材料は、ほぼ 100% 会津坂下町産のものです。収穫時期を迎えた立川ごぼうやさつまいもなどの地場物で作った料理を提供することができました。

AKAZA では、町の特産品である桜肉を使用した「さくらみそ」も製造しています。「さくらみそ」は、通常のみそとは異なる黒豆みそをベースに、会津坂下町産の材料を多く使用した商品で、大変手間暇のかかっているものです。地域の食材を使い、地域の人々が作った安心・安全な食べ物を届けられるよう、今後も活動していきます。



あざみごぼうの唐揚げ

☆☆ 11月19日 食育の日・家庭料理の日☆☆

商工会女性部より紹介いたぐだいメニューです

《材料》 4人分

ごぼう …1本 片栗粉…適量
サラダ油…適量 ごま …少量
昆布だし醤油…大さじ1

【昆布だし醤油】

醤油 …150ml
A { みりん…50ml
出し昆布 5cm × 5cm 1枚

1人分 約 90kcal、食塩 0.4g

《作り方》

- ①ごぼうは短冊切りにして水にさらしてから、水気を切っておく。
- ②ポリ袋にごぼうを入れ、少量の片栗粉で混ぜ、サラダ油で揚げる。
- ③器に盛り、昆布だし醤油をさっとかける。

【昆布だし醤油】

- ①出し昆布はペーパーで軽く汚れをとる。
- ②Aをあわせて冷蔵庫で1晩置く。
- ③漉して容器に入れて保存する。



ごぼうは食物繊維やイヌリンを豊富に含むため、血糖値の上昇を抑えたり、ビフィズス菌の成長を促したりする整腸作用があります。美味しいごぼう料理をぜひご家庭でもお試しください！

認定農業者会より ～ 11月出荷予定の野菜～

大根、白菜、小松菜、みず菜、里芋、オータムポエム、長芋、長ねぎ、ごぼう、人参、りんごなど

【問い合わせ先】生活課 福祉健康班 健康増進係 ☎ 93-6169

おすすめの新着本

本のタイトル	著者	出版社
『人間晩年図巻；1995-99年』	関川夏央／著	岩波書店
『天皇陛下の全仕事』（講談社現代新書）	山本雅人／著	講談社
『罪の声』	塩田武士／著	講談社
『レシピにたくした料理人の夢』	百瀬しのぶ／文	汐文社
『かいものづくし（幼児絵本シリーズ）』	いしだえつ子／文	福音館書店



新着本の紹介

『漱石の思い出』（文春文庫）	『小説王』	『明日の食卓』	『大勢の中のあなたへ』
夏目鏡子／述 松岡譲／筆録 文藝春秋	早見和真／著 小学館	椰月美智子／著 KADOKAWA	ひきたよしあき／著 杉浦範茂／絵 朝日学生新聞社
漱石の夫人である鏡子の口述を娘婿の作家松岡譲が編録して岩波書店より昭和四年に出版された、漱石との生活の回想録。本書は角川文庫を底本にし読みやすくなっています。	三流編集者・俊太郎と、売れない作家・豊隆。幼馴染みのふたりが出版界にしかけた壮大なケンカの行方は？文芸冬の時代に放つ、激熱のエンタテイメント！	“子育て”をテーマに、それぞれが別々の場所で生活している「石橋家」が交差して描かれている。共通するのは、子どもの名前が「ユウ」という名であること。	読んで、試してみて、感じたことを文章にする。これをくり返すことで文章の、否、生きる力を強くする。新聞コラムを通して「文通をしよう」と子ども達に呼びかけた著者の思いが伝わります。

町史編さん室より

会津坂下町の巨樹銘木⑧



【銀杏・浄福寺境内】（上開津）

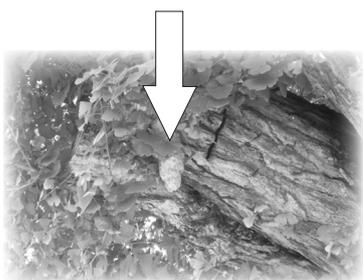
会津管内各所には、遠くからも目立つ銀杏の大木があります。『会津の巨樹と名木』（会津生物同好会）に記載されており、樹高では、大正寺の大銀杏（北塩原村）三九m、川口熊野神社の大銀杏（金山町）三七m、雀林法用寺（会津美里町）、慶徳熊野神社長床（喜多方市）、木曾宗像神社（喜多方市）、境野関場家（会津美里町）の大銀杏が三四mで、恵隆寺境内の大銀杏もこれらに匹敵する大木です。幹廻りの規模では古町の大銀杏（南会津町）が一〇・八mと最大で、次いで初瀬川家の大銀杏（会津若松市）九・六mで、恵隆寺境内の大銀杏は五・六mと十番目に大きな大銀杏と記されています。

町内では、上開津浄福寺、長井極楽寺の大銀杏が、樹高・幹廻りともに他所に引けを取らない大き

さで、上開津浄福寺の大銀杏は、緑の文化財に指定されています。銀杏の原産は中国で、いつの頃に日本に渡来したのかは定かではありませんが、一説に、観音様と一緒に渡来したといわれ、寺や神社の境内に多いのも宗教的な樹木である事を想像させます。また、大木になることから、生命力を秘めた「神の依り代」「神域の表示」「靈威の象徴」としての意味があるようです。

銀杏の老木には、気根と呼ばれる乳のように下垂する幹の部分があります。長井極楽寺の大銀杏はこの皮を煎じて飲むと母乳が出る効験があったと伝えられ、これからも観音信仰との由来を感じさせます。

銀杏の気根



町史編さん室

☎ 83 - 3010

ばんげのいいとこ、みつけた!!

VOL.11 大竹とうふ店

“永く愛される商品を作り続ける”

大竹とうふ店は創業66年、現在三代目が豆腐作りを行っています。こちらの豆腐は、絹豆腐より大豆の割合が高い木綿豆腐のみ。「大豆の旨みがかっきりと感じられるように、うちは木綿だけ作り続けています。」と三代目。さらに、豆腐1丁(400g)に対して大豆1合(130g)と、ふんだんに大豆を使用し、風味と香りを大切にしています。

三代目のオススメは美のところ厚揚げ。「レンジで温めてネギ・醤油をかけてもおいしいけれど、豚バラ肉・きのこと一緒に甘じょっぱく煮込んで最高です、ビールのお供として。」との事。厚揚げは一度湯通しして油を落とし、最後に入れるのがポイントだそうです。

豆乳もあります！
お電話いただければ
ご用意できます♪



毎朝4時に仕込むこだわりの豆腐を求めに
たくさんの方々が訪れる大竹とうふ店
にぜひ足を運んでみてくださいね。



寄せ豆腐はふわふわ触感、大豆のあじわい豊か。
寄せ豆腐、厚あげ、もめん豆腐も1個110円

大竹とうふ店

もめん豆腐、寄せ豆腐、厚揚げ、油揚げ、豆乳(予約のみ)。



営業時間 : 午前10時~午後6時
電話番号 : 83-2537
住所 : 字上台乙446-2

あなたの知りたいお店やみんなに知ってほしいお店を教えてください!! 広報紙面に掲載します。自薦他薦問いません。 産業課 商工観光班 ☎83-5711 FAX83-5713

11月のカレンダー

㊦などはページ番号です。詳細についてはお知らせ掲載ページをご覧ください。㊦については、広報紙と同日配布の「きいてくなんしょ」に詳細を記載しています。㊦については、各コミセンだよりに詳細を掲載しています。

日	月	火	水	木	金	土
10/30 ●消防団秋季検閲式 ●ふくしま本の森図書館臨時休館	31	11/1	2	3 文化の日 ●健康と産業と文化の祭典 ●下水道フェスティバル ●坂下婦人会バザー㊦	4	5
6 ●広瀬みつばちフェスタ㊦㊧ ●川西やってみっか!!(ミニ文化祭)㊦ ●消防パレード	7	8 ●4か月児㊦	9	10 ●司法書士・土地家屋調査士による法律相談会㊦ ●健やかキッズ㊦	11 ●フッ素塗布・歯科健康相談㊦	12 ●わくわく☆ドキドキ☆楽しい広場㊦ ●新そばまつり(~13日) ●立川ごんぼフェスティバル(~13日)
13 ●坂下厚生総合病院㊦ ●やはたわいわい祭り㊦㊧ ●黒澤このみりサイト㊦	14 ●少年の主張大会㊦	15	16	17 ●1歳6か月児㊦	18 	19 ●トトロの会「子ども向け読み聞かせ」㊦ ●佐々木一華と佐瀬得所遺墨展㊦(~20日)
20	21 	22	23 勤労感謝の日 ●調停相談会(会津若松市)㊦	24 ●10か月児㊦ ●健やかキッズ㊦	25	26 ●坂下スポーツ民踊り納め発表会㊦ ●会津の歴史を楽しむ講座㊦
27 ●菅原医院㊦	28	29	30	12/1	2	3